



2014年10月に行われた授業コンテスト規定部門に続き、11月1日にサイエイ・インターナショナルの日本人・外国人の全講師を対象とした授業コンテストフリー部門が開催されました。全日本人講師30名・全外国人講師40名の中から、厳正な一次審査を勝ち進んだ選ばれし5人のファイナリストが、鍛え抜かれた授業技術を競い合いました。今回、優勝・準優勝・優秀賞受賞者のインタビューをご紹介します！



外国人講師部門 優勝 Ricky Luna 先生

＜今回のアイデア・見どころは？＞

今回の単元・助動詞を、誰もが楽しめるカードゲーム“神経衰弱”の要素を取り入れて行いました。コンテスト当日まで必死に考えていて、前夜見た夢の中で思い付いたアイデアを直前で取り入れて本番に臨みました。

＜最も苦労した点は？＞

どのアクティビティーを取り入れるか、コンテスト当日まで悩みました。当初は8個まで膨らんでしまいましたが、実際の授業で生徒に役立つもの、当日他の講師が見ていてもためになるもの・楽しいもの、という基準で絞り込んでいきました。

＜生徒へ一言！＞

たとえどんなレベルの人でも、みんなは学び続けることができます。頭がいいことだけが重要ではなく、学び続けることが一番大切なのです。サイエイのレッスンを通じて自己研鑽することの大切さを身につけていきましょう。

＜優勝した今の気持ちは？＞

今までの苦労が報われ最高の気分です。しかし、ティーチングに終わりはなく、日常のクラスでより良い授業方法を探していかなければなりません。

＜入賞した今の気持ちは？＞

コンテスト前は、とにかく頭がいっぱいでそのことしか考えられない状態でした。しかし、最後まで考え抜くことができたため、コンテストを終えてとても充実した気持ちです。

＜今回のアイデア・見どころは？＞

現在完了（経験）の単元を、自身が好きな旅行に絡めて展開しました。世界の地理や有名なスポットなどを世界地図を用いて表現したことや、自作の[World Quiz Book]を活用して知的にアクティビティを行いました。

＜最も苦労した点は？＞

たくさんアイデアから制限時間の10分以内に収めることでした。練習段階で、タイムマネジメントを心がけて見せ場を作るように心掛けました。

＜生徒へ一言！＞

各種ある英語勉強方法の中から、自分にとって最も楽しい方法を見つけてそれを追及してください。あと、文法にとらわれすぎて話すのをためらっていませんか？間違いは誰にでもつきものです。先生に相談しながら、とにかく自ら発話する習慣を身につけてきましょう！

外国人講師部門 準優勝

Szu Lee 講師



授業コンテスト 日本人講師部門



優勝 永田弘樹 講師



<今回のアイデアおよび見どころは？>

今回は知覚動詞をドアの音、電車の音などの効果音を使ってやりました。最後は、自分がラジオのDJをやっていたころの音も使用しました。これらの授業アイデアはいつも何気ない瞬間に浮かびます。トイレの中、電車の中、食事中などです。今回はお風呂の中で電車の通る音を聞いてひらめきました。今回の授業内容は毎週全校配信されている Phrase of the Week にも載っているので校舎やホームページで見つけてくださいね。

<普段の授業で心掛けている点は？>

楽しく、有意義であるということです。楽しいだけでは飽きるし、有意義な内容だけでもつまらない。リアリティがあり、文法にしたがって正しい文章を生徒自身が作り出せるルールを敷くつもりで授業をしています。そして、正しく言えた後は思いっきり楽しむ！ですね。

受験でも、留学でも何でも来い！です。英語はスポーツと同じ実技です。ルールを覚えて、練習をして練習試合をしてだんだん強くなって、大会出場ですよね。英語も同じです。まずはルール(文法)、そして口頭練習、ネイティブ講師+バイリンガル講師で練習試合、そして実践練習です。日常のありとあらゆることを英語で表現する自己練習もして、サイエイ・インターナショナルでさらに鍛えて国際人に成長してください。

<優勝した今の気持ちは？>

緊張しましたが、見ている人たちが楽しめる内容だと自信がありました。優秀賞は何度か戴きましたが、今回は念願の優勝を勝ち取ることができたので、とてもうれしく思います。

<生徒へ一言！>

本物の英語力を付けたらどんなことがあっても無敵です。英検でも

<入賞した今の気持ちは？>

日本人講師、外国人講師、アシスタントマネージャー、全スタッフの前で授業を披露するのは本当に緊張しました。しかし、コンテストが終わった後、「良かったよ！」と声をかけてくれた人がたくさんいたので、授業内容を直前まで試行錯誤を重ねて磨き上げた甲斐があったと思います。

<今回のアイデアおよび見どころは？>

生徒1人1人にアメリカ、カナダなど英語圏の各国代表になってもらい、「留学を考えている人向けに自国をアピールしよう」というアクティビティを行いました。

<最も苦労した点は？>

今回の設定が中学生準2級で不定詞を題材にしましたが、アクティビティで使用する英単語を準2級レベルだけに絞り、題材である不定詞を使い、限られた時間内でどう収めるかで悩み抜きました。

<生徒へ一言！>

英語が話せると、友達が増え、自分自身の活躍の場が増え、可能性が広がります。学生のみなさんは、今はまだ想像がつかなくても大人になったときにきっと意味が分かります。周りの大人の言うことに耳を傾けながら、英語学習を続けていってください。

準優勝 大木清香 講師



優秀賞 佐藤未来 講師



<入賞した今の気持ちは？>

参加している人だけではなく、見ている人にも分かりやすく、面白い授業とはどういったものなのかを考えました。大変でしたが、講師として自分を高められるとても良い経験をしました。

<今回のアイデア・見どころは？>

災害時に実際に役立つものは何か、どう使用するのか、なぜそれは危険なのかなどを、比較級で表現しました。毎回のレッスンの中でも、英語で何か実際の生活に役立つものを生徒に学んで欲しいと考えて教えています。本番もその気持ちで臨みました。

<普段の授業で心がけている点は？>

生徒が自分で考えて、発話する機会をどう増やしてあげるかを考えています。子供の興味を惹きつつ、確実な英語力の向上につながるレッスンができるように、周りのスタッフにアドバイスをもらいながら行っています。

<生徒へ一言！>

英語は短期間では身に付きません。他の教科やスポーツでも同じですが、目標に向かう間に、必ず苦しい時期がくると思います。でもそんな時は、一緒に勉強している仲間や、先生に相談してください！みんなの目標は私たちの目標でもあります。サイエイで夢へ大きく羽ばたいていってください！